

車上狙いが多発

防災安全課
内線272

車上狙いとは、駐車中の自動車の中から現金などの貴重品を盗み出す手口の犯罪です。「自分は大丈夫」と思わずに、被害に遭わないための対策をしましょう。実際に昨年末から今年にかけて下米田町地内を中心に、車上狙いが連続 29 件発生しています。

被害に遭いやすいもの

かばん・財布・ノートパソコン・カーナビ・給油カード・衣類など

被害の防止対策

必ず施錠をする

車を離れるときは、わずかな時間でも必ず施錠をしましょう。車上狙いだけでなく自動車ごと盗まれる恐れがあります。

車内に物を放置しない

施錠していても車内にかばんなどを放置しないようにしましょう。たとえ貴重品が入っていないかばんでも、中身を知らない犯人は、ドアや窓ガラスを壊して犯行に及びます。座席の下でも安心できません。

窓ガラスは完全に閉める

窓ガラスを少しでも開けておくと、そのすき間を利用して犯行に及びます。

盗難防止装置の利用

犯人は、防犯装置の付いている車を敬

遠します。しかし、安心は禁物です。

駐車場は明るい場所が原則

自宅の車庫における対策としては、感知式ライトを設置するなど極力明るくすることが有効です。外出先で駐車する場合は、明るい場所や見通しの良い場所を選ぶように心掛けましょう。

※車上狙いを100%防止する対策はありません。しかし、狙われないようにするための対策を行えば、確実に被害に遭わない確率は上がります



考えよう。共生時代⑪

シリーズ

ペルーの音楽文化

Buenos
Dias

一般にペルー音楽というと、日本では「コンドルは飛んでいく」が思い出されるでしょう。しかし、これはアンデスのフォルクロレ(民族音楽)であって、ペルー音楽のすべてを代表しているとはいえません。ペルー音楽のほとんどは、音楽、歌、踊りが、どれも深く密接に結び付いていて、大衆音楽として成長してきたといえます。そして、その音楽は、主に海岸砂漠地域(コスタ)、アンデス山岳地域(シエラ)、アマゾン熱帯雨林地域(セルバ)の3つに分かれています。

コスタでは、ヨーロッパ文化とアフリカ文化に影響を受けており、大きく分けてクリオーヤ(白人音楽)と、アフロペルーアナ黒人音楽に分けられています。この2つの音楽は、今も海岸砂漠地域に住む人々にとって大切な音楽として愛され、歌われ、そして何より踊られ続けています。コスタの代表的な音楽には「フエステホ」、「マリネラ」などがあります。

シエラでは、昔から伝わるインカの音楽にヨーロッパの弦楽器音楽をミックスして生まれたフォルクロレが代表的で、神聖なセレモニーのための音楽と祝い事のための音楽に分かれており、一番人気なのは、祭りなどでよく演奏される「ウワイノ」です。

セルバでは、多くの種類の音楽がありますが、その中でも一番流行なのは「チーチャ」と「クンビア」と呼ばれる、とてもテンポが速くて楽しい音楽です。

ペルーには、いろいろな音楽が魅力を持って存在しています。音楽を紹介することで、少しでもペルーに興味を持っていただけたらと思います。(文責 黒田)